

浅春の鳳凰三山

期 間：平成 28 年 3 月 20 日（日） ～ 3 月 21 日（月）

種 別：個人 参 加 者：富岡 山 域：南アルプス 鳳凰三山

コースタイム：

3/20 夜叉神峠登山口（5：30）⇒南御室小屋（9：30）⇒薬師岳（11：00）⇒観音岳（11：30）⇒地藏岳（13：00）⇒南御室小屋（16：30）

3/21 南御室小屋（6：00）⇒夜叉神峠登山口（8：45）⇒自宅（13：00）

新雪が積もった鳳凰三山（薬師岳・観音岳・地藏岳）に登ることができた。雲は多いが、風のない快適な山行となった。

3/20 天気：曇り時々晴れ

車で白根 IC から夜叉神峠登山口に進む。夜叉神峠までは雪もなく、歩きやすい。その後、夜叉神峠から杖立峠の区間は斜面が凍り付き、登りも下りも慎重な行動が求められる。杖立峠からアイゼンを装着し、南御室小屋まで歩く。想定した時間より 1 時間早い到着となる。小屋のテン場にテントを張り、薬師岳にむけて、リスタートする。

テン場から薬師岳の道は、最初は傾斜がきついが、その後は緩やかになる。樹林帯を抜けると、薬師岳小屋がある。この小屋から 10 分足らずで、薬師岳に到着する。山頂の標識より、奇岩の集落という印象が強い場所だ。

夏はハイマツと花崗岩で白砂青松の稜線であるが、松の青より雪の白が際立つ。この稜線から白峰三山を見ながら歩くことも楽しみにしていた。しかし、今回は雲の多い日であり、北岳などは頭隠して尻隠さず状態であった。歩きやすい稜線を歩き続け、観音岳に到着する。



【白砂白雪の薬師岳】

当日は観音岳で引き返す方が多いようで、地藏岳にむかうトレースが浅い。地藏岳に行けず、途中で戻ってきたパーティーがいた。トレースは彼らのもので、途中でトレースも消えるとのことだった。体力と時間に余裕があり、そのまま前進することにする。



【印象的なオベリスク】



【雪深い地藏岳】

稜線から地藏岳に向かうルートは雪が深く、腰まで埋まる。ラッセルしながら、山頂の標識まで辿り着く。あとは、のんびりと来た道を引き返す。

3/21 天気：曇り

テン場から霧氷の登山道をぬけ、無事に登山口まで下山する。



【霧氷の登山道】